

2026年1月10日(土)・11日(日)

第14回日本理学療法教育学会 学術大会 @ 帝京平成大学池袋キャンパス

公募型ワークショップ08

学びの”個性”を活かす!

～自己調整学習で拓く、医療専門職の生涯学習～

上尾中央医療専門学校 理学療法学科

海老原賢人 (Kento Ebihara, PT, Ph.D)

e-mail: k_ebihara@acmc.ac.jp



公募型ワークショップ⑧の概要

第14回

日本理学療法教育学会 学術大会



第60回
日本理学療法学術大会

日本理学療法教育学会の未来
今こそ叡智を集約せよ



2026 1/10 (土)
/11 (日)

帝京平成大学
池袋キャンパス

学術大会長 芳野 純

準備委員長 吉本 真純



大会HP

※本学術大会は、第60回日本理学療法学術大会の1つとして開催されます。

■ 日時

01月11日 (日)

10:00 ~ 11:30 (90分間)

■ 会場

第4会場 (412号室)

■ キーワード

理学療法、教育、生涯教育、
自己調整学習（方略）、
理学療法士の自己調整学習方略尺度



理学療法士の教育

卒前教育

卒前教育の到達目標

ある程度の助言を受けながら、
基本的な理学療法を実施できる
とともに、**自ら学ぶ力**を育てる

(モデル・コア・カリキュラム、2019)

卒後教育

卒後教育の到達目標

自ら設定し、目標到達に向けて
学習を継続していく必要がある

**自ら学ぶ力を、どのように育み、確認するか、
さらなる議論・検討・実施が求められる**

自己調整学習方略

Barry Zimmerman (1942-)

- 米国教育心理学者
- 1990年の米国心理学会で、**自己調整学習**の概念を確立

定義

学習者が**メタ認知・動機・行動**の観点から、学習プロセスに
能動的に参加する学習

(Barry, Zimmerman, 1990)

循環モデル



(Zimmerman, 1990)

ワークショップの概要

■ 自己調整学習の理論的背景を学ぶ

- ー 自己調整学習（方略）とは
- ー 医療専門職教育の分野における、自己調整学習（方略）の位置付け

■ グループワーク

- ー **自分**の自己調整学習の“個性”を理解し共有する
- ー ケースをもとに、**学習者**の自己調整学習の“個性”を理解し共有する
- ー 明日から使える指導方法、教育のアイディアを考え、共有する

■ 期待される成果

- ー 自分の学習の“個性”を客観的に振り返り、アップデートできる！
- ー 学習者の学習の“個性”を理解することで、明日からの教育に活かせる！
- ー 参加者とのワーク・交流により、具体的アイデアを共有できる！

新人スタッフに、“どう学ぶか”伝えたいけど、方法がわからない・・・

自分自身の学習方法を、客観的に振り返りたい・・・

指導が一方通行になってしまう・・・

新人ごとに反応が違うから、どうやって指導したらいいかわからない・・・

中堅スタッフにも、もっと主体的に学習してほしいけど・・・

学習について指導する、指標がほしい・・・

教育や学習の“悩み”も“情熱”も、皆様の叡智として集約し、
新たな学びを、共に作っていきましょう！

皆様のご参加を、心よりお待ちしております！

参加を希望される方は、
第14回日本理学療法教育学会学術大会のHPより、
フォームに必要事項をご入力ください！